

■理事長就任のご挨拶



医療法人 千徳会 桜ヶ丘病院
理事長 院長 成川 暢彦

平成30年4月より医療法人千徳会前理事長成川守彦より理事長職を引き継ぎました医療法人千徳会桜ヶ丘病院理事長兼院長成川暢彦です。私は、平成17年より桜ヶ丘病院に勤務、平成20年より桜ヶ丘病院院長として業務を担っています。

当院では一般内科を中心に、腎臓内科・神経内科・循環器内科・皮膚科・婦人科・脳神経外科等の専門外来診療を行っています。特に私自身が腎臓内科医であるということで腎臓内科診療には重点を置いて、慢性腎不全患者に対する保存期からシャント手術、さらに透析導入・維持透析までの継続した診療を提供しています。また、最近では、神経内科と脳神経外科の外来診療を月～金曜まで行うことにより、認知症疾患の診療にも積極的に取り組んでいます。

入院体制は、医療療養病棟(50床)と特殊疾患病棟(49床)を有しています。また、関連施設として、訪問看護ステーションがあります。さらにさくらグループとして、社会福祉法人守皓会があり、特別養護老人ホーム・グループホーム・養護老人ホーム・デイサービス等を有し、有田地方での医療・介護の充実に貢献できるよう努めています。

今後、ますます少子高齢化が加速し、人口が減少する中で、病床数の削減が行われるなど、医療業界を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。そのような状況の中ですが、当院は今まで以上に、外来・在宅から入院診療まで幅広く対応することで、有田地域の医療・介護の充実・向上に貢献し、病院理念である『信頼される医療、安心・安全の医療、慈愛あふれる医療』を提供する事で、地域に必要とされる病院づくりに一層励んでいきたいと思っております。

今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■名誉院長就任のご挨拶



医療法人 千徳会
名誉院長 成川 守彦

この度平成30年3月末をもって、私は医療法人千徳会の理事長を退任し、長男の暢彦にその任を託します。今後私は名誉院長として補佐に努めます。

思い起こせば、女医である母千代子の跡を継いで昭和50年有田市箕島の北新町に「成川産婦人科医院(13床)」を開設し、昭和56年に「医療法人千徳会」と組織変更、昭和57年有田市宮崎町に「桜ヶ丘病院(84床)」を開設しました。病院開設の動機は、その当時の有田地方のベッド数の不足と救急体制の不備のため、救急患者さんの多くが海南・和歌山へ搬送され、「何とか地元で診てあげられないものか」という思いでした。その後医療環境の変化から当院は長期療養型病院へ転換すると共に、「人工透析センター」を開設しました。

高齢者医療に取り組んで感じたことは、障害を持つ多くの高齢者は病気がよくなっても次に生活する場所がないということでした。そこで平成2年に特別養護老人ホーム(以下「特養」)田鶴苑、平成4年に有田市在宅介護支援センター、平成19年に特養愛宕苑、ケアハウス愛宕苑、平成22年にグループホーム愛宕苑、平成27年に特養ありだ橋苑を開設し、地域住民の皆様の医療と福祉の要望に応えるべく微力ながら力を尽くしてまいりました。

去る平成23年には長男暢彦を院長として3代に亘る75周年記念謝恩会を開催できました。

私が開業以来47年間、山あり谷ありでございましたが、何とか歩いて来られましたのは、周りの皆様のご指導ご鞭撻のお陰でございます。これからも当法人の「経営理念」に謳っているように、職場を人間完成の道場とし、職員はじめご支援いただく皆様との「ご縁」を大切にしたいと存じます。

さくら喫茶へようこそ♪

当院では、昨年10月より、毎月認知症カフェ『さくら喫茶』を開催しています。ここでは、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、認知症に関する相談が出来たり、認知症の人やその家族の方が地域の人たちと交流できる場を提供できたらと考えています。

毎月、様々なイベントを実施、当日は認知症キャラバンメイト3名を含めたスタッフが、もの忘れや認知症症状などの色々な情報をお届けし、気になることがあれば相談もお受けします。

毎月ポスターや当院Facebook等で開催のお知らせをしていますので、皆様、気軽にご参加ください。

※お問い合わせは0737-83-0078 担当:児嶋まで



次のさくら喫茶は…
4月21日(土曜)
14:00~16:00
健康体操・コカリナ演奏会等

新入職員紹介



なかやま たかひと
中山 誉仁
訪問看護 理学療法士
(入職日 平成29年11月1日)

訪問リハビリの仕事をして11年になります。どんなときも謙虚な姿勢で、明るく元気に愛想よく、冷静に判断することを心掛けています。桜ヶ丘病院に貢献できるよう、精一杯がんばりますのでよろしくお願い致します。



おくだ ともこ
奥田 都茂子
5階病棟 看護師
(入職日 平成30年1月4日)

病棟経験が浅く5階スタッフの皆さんに色々ご指導頂きながらの日々が続いています。これまで培ってきた在宅看護の経験を活かし、患者さんに寄り添った看護を提供できるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



つじ たけお
辻 威夫
事務次長
(入職日 平成29年12月16日)

入職して数か月が過ぎようとしています。今まで、医療、介護、その他様々な経験を積み重ねて来ました。それらを活かして皆様のお役に立てる業務と、有難う御座いますの心で努力していく所存です。宜しくお願い致します。



みなみむら さちこ
南村 幸子
5階病棟 看護師
(入職日 平成30年1月4日)

今までは訪問看護で働き、病棟は久しぶりなので、1日でも早く慣れて看護師として役割を果たせる様に頑張ります。よろしくお願いたします。

健康コラム ～婦人科医長 今井秀彰～ 『ホルモンバランス』

月経が周期的にある年齢の患者さんが『ホルモンを測ってほしい』と来院されることがあります。どうしてかと聞くと『他の科でホルモンのバランスが崩れていると言われた』とのこと。婦人科的には周期的に月経があれば測定の意味はあまりないと考えます。女性ホルモンは20歳代をピークに以後下降するとは言われていますが、バランスとしては40歳代の方がいいことが多かったりします。若い頃月経不順であった人が周期的に来るようになり、もともと28日周期の人は最短で21日周期になったりもします。これは老化現象ではなく、バランスが良くなったと捉えるべきだと思うのです。

初めの話に戻ると、ホルモンバランスは一種のブラックボックスであり、体調不良の原因が不明や説明がつかない場合に使われることが多く、その場合、出来る治療は規則正しい生活など身体と精神を健康に保つ事が1番だと考えます。

そうは言っても、体調不良があれば皆さん不安になりますよね。そんな時はお気軽にご相談下さい😊

